

審査結果概要 (取手市立取手ウェルネスプラザ及び取手ウェルネスパーク指定管理者公募)

1 採点結果

審査項目	配点	得点	
		特定非営利活動 法人日本スポー ツ振興協会	とりで健幸づく りパートナーズ
ア) 申請団体の実績や理念に関する事項	200	128	168
① 類似施設におけるこれまでの実績と専門性	100	64	86
② 申請団体の経営状況や経営方針、指定管理を申請した理由	100	64	82
イ) 指定管理の基本方針に関する事項	160	98	112
① 管理運営に関する基本方針	160	98	112
ウ) 施設の管理運営体制に関する事項	240	156	165
① 職員の配置や勤務体制、研修計画	120	78	90
② 緊急時の対策と対応、個人情報保護、職員の待遇等	120	78	75
エ) 運営業務に関する事項	600	378	405
① 広報や宣伝の取組	120	75	75
② 利用料金の設定と利用手続き	120	78	90
③ 稼働率の目標と利用促進の取組	120	69	84
④ 管理者業務の効率性及び確実性の向上	120	72	78
⑤ 利用者満足度の向上	120	84	78
オ) 施設の維持管理業務に関する事項	220	149	160
① 建物や設備機器、備品等の長期保全の取組	120	75	84
② 廃棄物発生の抑制及び省エネルギーの推進	100	74	76
カ) 自主事業に関する事項	460	302	321
① 市民交流支援事業	120	72	87
② 健康づくり支援事業	120	84	75
③ 子育て支援事業	120	75	87
④ その他の事業（飲食事業、物販事業等）	100	71	72
キ) 収支計画に関する事項	360	210	246
① 収入計画の妥当性	120	69	81
② 支出計画の妥当性	120	69	81
③ 経費節減や増収の取組	120	72	84
ク) その他の事項	160	62	74
① 上記審査項目やそれ以外の項目における特筆すべき提案	160	62	74
合計	2,400	1,483	1,651

2 評価概要

(優先交渉権者)

優先交渉権者として選定した「とりで健幸づくりパートナーズ」は、審査項目全般にわたって相対的に高い評価を得ており、合計得点は2,400点中1,651点（約69%）であった。

提案では、管理運営を行ううえでの基本理念として「とりで幸^{こうけん}献 ～活力を育む施設～」を掲げ、現指定期間中に培った経験やネットワークを活かして更なる利用者サービスの向上と管理運営の効率化を図るとしている。

提案内容において高く評価したポイントは以下のとおりである。

- ・ 運営において、ホームページ上に施設やイベントの紹介動画を掲載するとともにインターネット予約システムを導入するなど、既存の利用者の利便性を高めるだけでなく、新たな利用者呼び込むための効果的な取組が考えられている。
- ・ 施設の維持管理において、専門資格を有する常勤の施設維持管理責任者を配置するとともに、専門知識を有する非常勤の植栽担当職員を新たに配置し、公園を含めた施設全体を高い水準で維持管理できる体制が整っている。
- ・ 自主事業において、周辺地域と連携して実施する大規模イベントや、幼少期から質の高い文化芸術に触れる機会を提供する芸術鑑賞イベントなど、市民交流支援、子育て支援の分野における魅力的な事業が計画されている。
- ・ 収支計画において、現指定管理者としての経験を活かした現実的な積算のなかで指定管理料の縮減が図られている。経費節減にあたって懸念されるサービスレベルの低下については、代表団体・構成団体の本社部門によるサービスレベルに関する定期的なモニタリングの実施や、経費縮減策の実行プロセスが具体的に考えられており、経費節減の影響が利用者等に転嫁されることのないような体制が整えられている。

また、提案内容以外でも、代表団体と構成団体の経営状況や経営方針、類似施設における豊富な管理運営実績及び専門性などは、本施設の管理運営に活かされるものとして高く評価された。

以上より、「とりで健幸づくりパートナーズ」は、着実な進歩を伴いながら本施設を安定的に管理運営していくことができると見込まれることから、優先交渉権者として適当であるとの結論に至った。

(次点交渉権者)

次点交渉権者として選定した「特定非営利活動法人日本スポーツ振興協会」は、いくつかの個別の審査項目では優先交渉権者を超える評価や同等の評価を得たものの、合計得点は2,400点中1,483点（約62%）と優先交渉権者に次ぐ得点であった。

提案では、「地域の課題発見そして課題解決へ 自走できる協会ノウハウ」、「地域社会の活力を高め、市民の新たな活動への一步を創る」を基本方針とし、「知の循環型社会」（自主サークル育成）の構築や、市民への各種講座、発表の場の提供を図るとしている。

提案内容において高く評価したポイントは以下のとおりである。

- ・ 運営において、幅広い利用者からより多くの意見・要望を聴取する仕組みやトラブルの防止策、トラブル発生時の対応策など、利用者満足度を向上するための具体的かつ効果的な取組が考えられている。
- ・ 自主事業において、団体の強みを活かし、子どもから高齢者までを対象にした健康づくり推進事業が豊富に計画されている。

上記以外にも、狙いを定めた効果的な広報・宣伝方法や、流行を取り入れた自主事業計画など、施設の現状や特性を分析したうえでの魅力あるアイデアが随所に見られた。

また、優先交渉権者には及ばないものの、全般的に公募要項の水準を満たす管理運営が可能と見込まれることから、次点交渉権者として適当であるとの結論に至った。